

2024年3月期 第3四半期

決算説明資料

株式会社 SHINKO

2024年2月13日

売上高はDX推進の後押しもあり前年同期比で増加しており、通期予想に対し想定通りの進捗

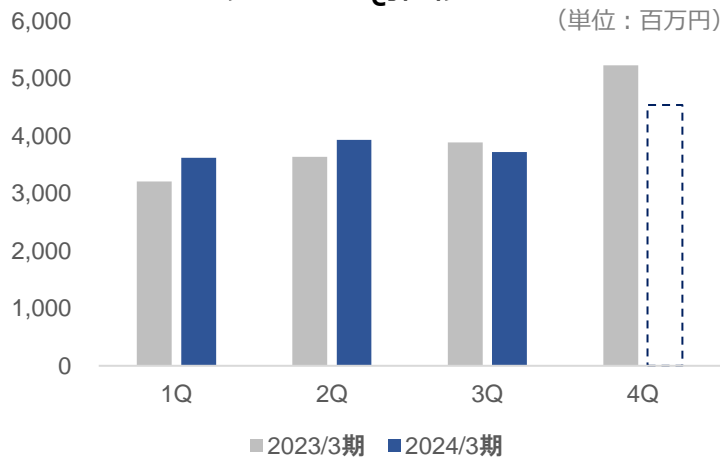
<b>売上高</b> <b>11,257百万円</b> 前年同期比 +5.0%	<b>営業利益</b> <b>325百万円</b> 前年同期比 $\triangle$ 36.7%
<b>経常利益</b> <b>331百万円</b> 前年同期比 $\triangle$ 36.3%	<b>四半期純利益</b> <b>214百万円</b> 前年同期比 $\triangle$ 35.4%

パソコンおよびその周辺機器の販売案件の比重が大きく、機器代金の値上げもあり仕入原価が増加。年間契約に基づく機器の販売案件は、期中にあった仕入機器の値上がり分を売上高に反映することができず、一時的に値上げの影響を受けています。（今後の価格交渉により改善を目指します）また、資本金増加に伴い外形標準課税制度の対象となったこと、人員増加（新卒47名採用）人事制度見直しに伴う給与改定、ベースアップ等の販管費増加により前年同期比で減益

当社はソリューション事業における売上高が年度末に集中するため  
**季節的変動**があります。

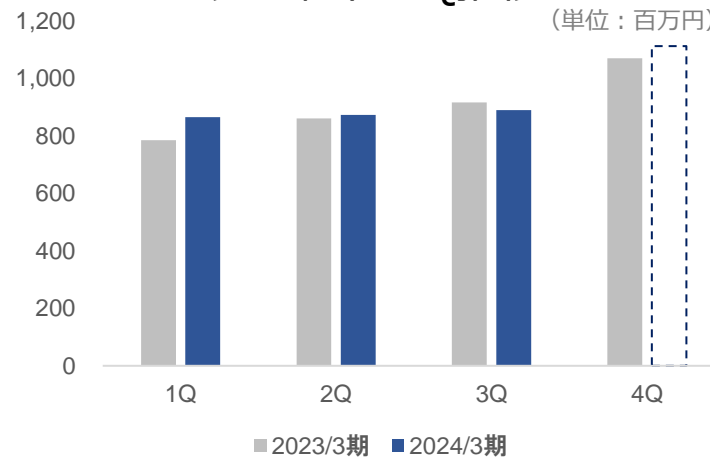
大型案件の検収、ICT補助金等を活用した機器の導入  
 訪問看護オンライン資格確認用機器の導入案件が4Qに控えており  
**例年通りに4Qに売上・利益が集中する見込み**

売上高Q推移



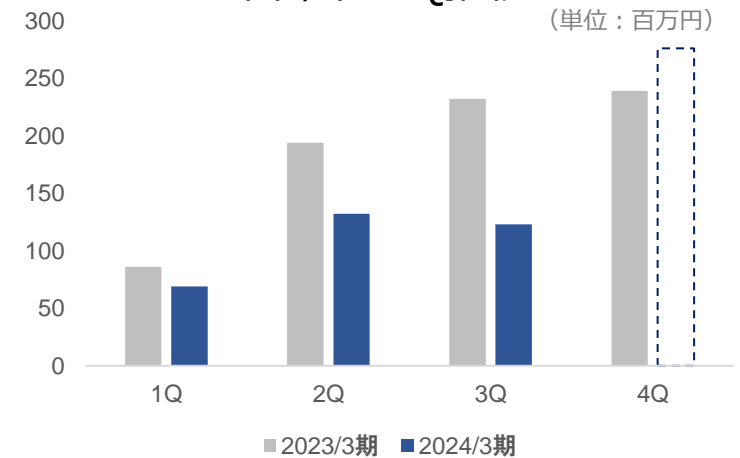
2023年3月期4Qは、2023年4月から運用が開始したオンライン資格確認のための機器導入作業が多くあり売上が大幅に増加。  
 2024年3月期は同案件が上期に集中したため、例年と比較して1、2Qの売上高が高め。

売上総利益Q推移



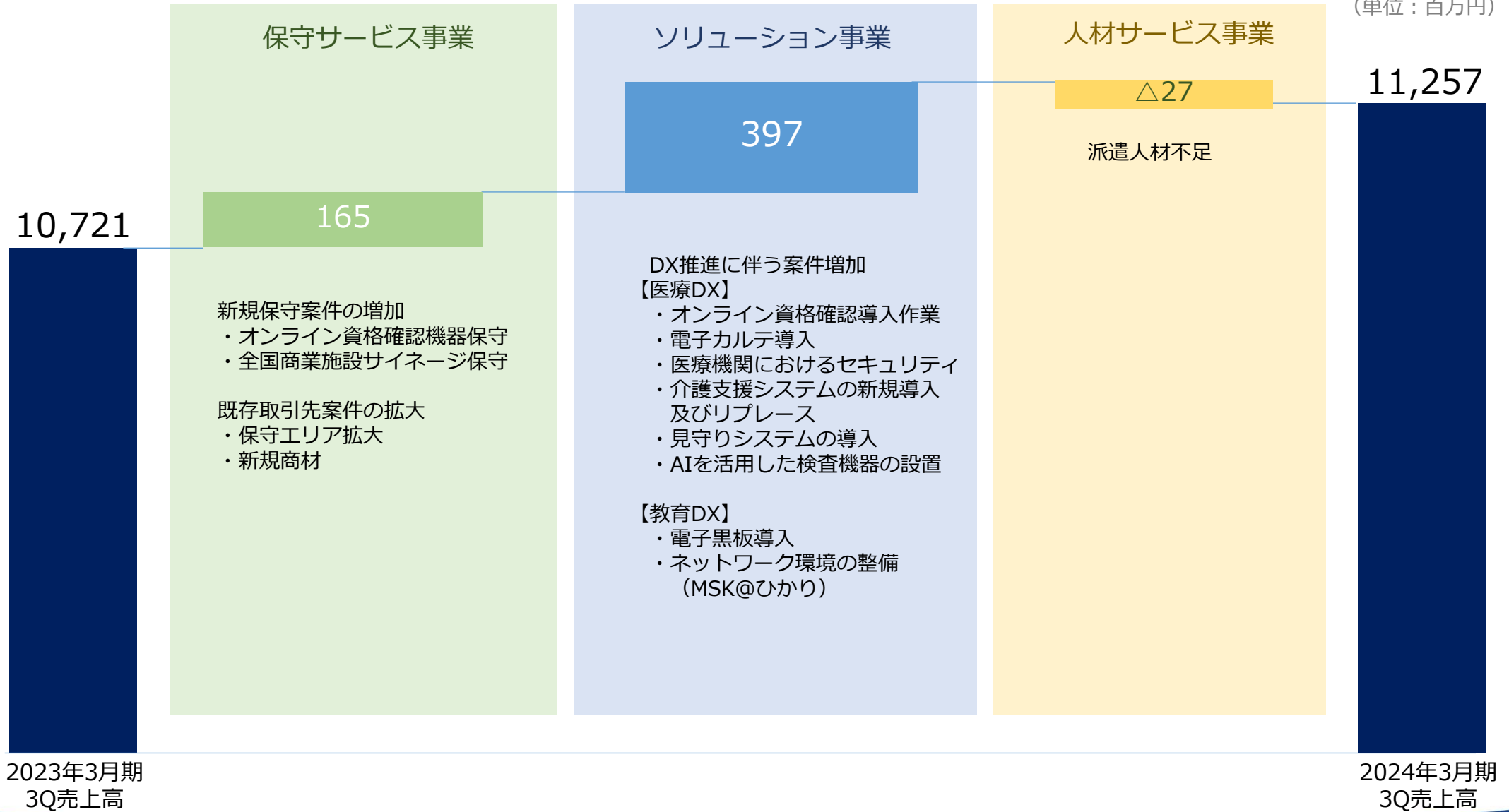
2024年3月期の売上総利益はIT機器の値上げの影響を受けながらも売上の増加に伴い前年同期比で2.5%増加

営業利益Q推移

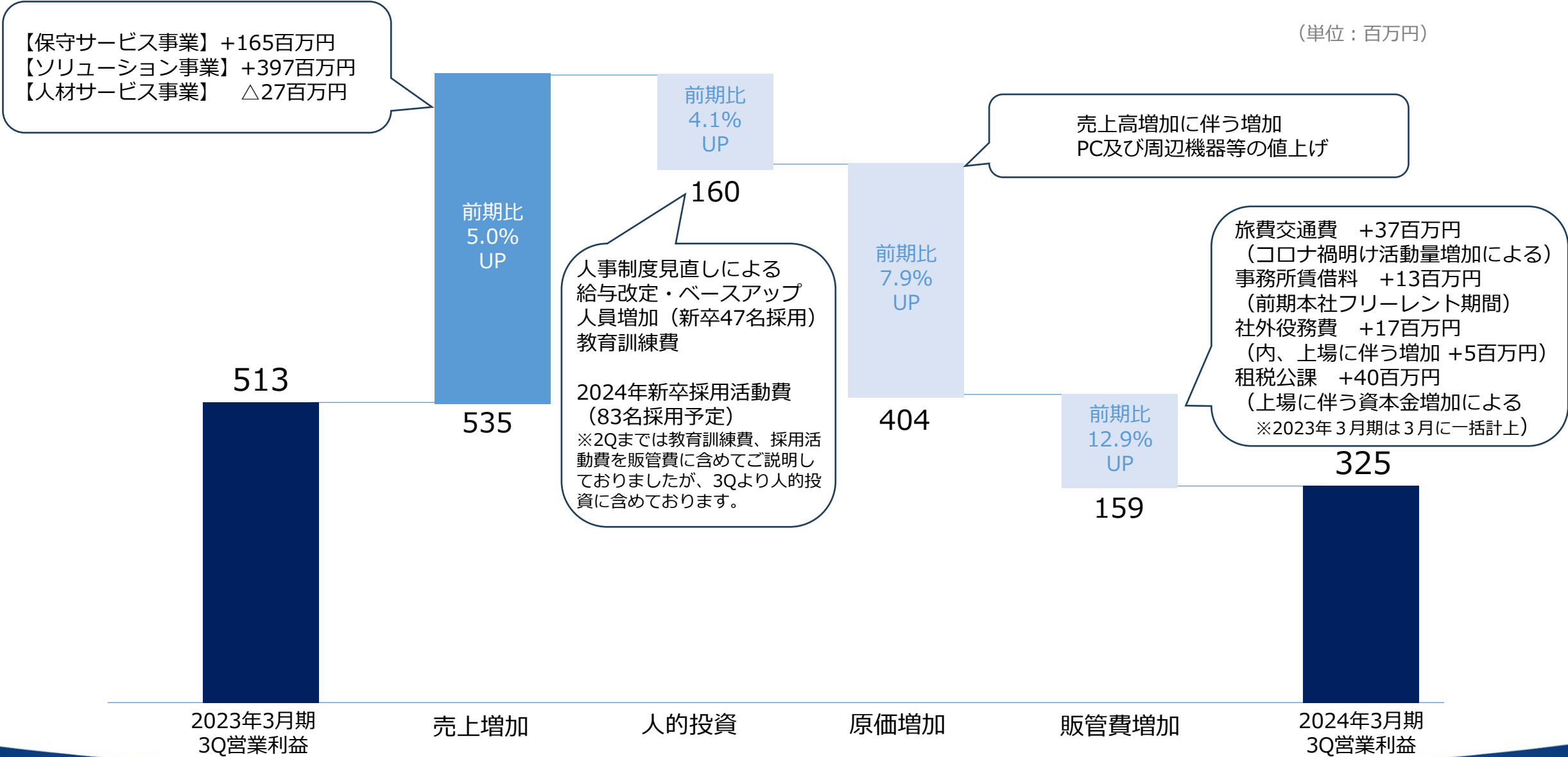


2024年3月期は前年と比較して機器販売案件の比重が大きいため前年同期と比較して利益は低め。  
 4Qには大型案件の検収、ICT補助金を活用した機器の導入、訪問看護向けオンライン資格確認の導入等が控える。

(単位：百万円)



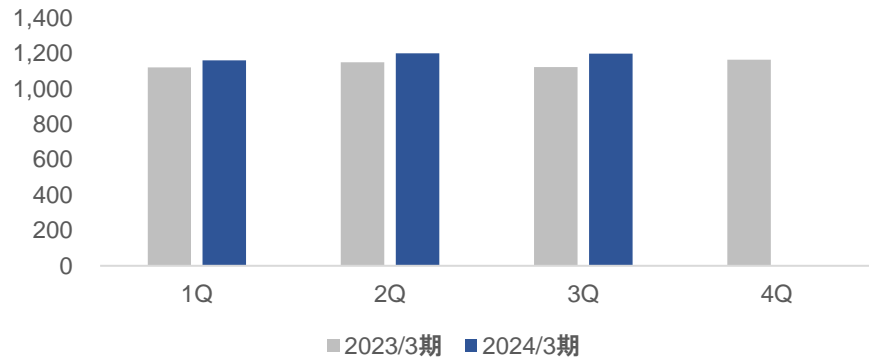
(単位：百万円)



単位：百万円	保守サービス事業	ソリューション事業	人材サービス事業	計	本社管理部門にかかる販管費	四半期損益計算書計上額
売上高	3,560 (前期比4.9%増)	6,086 (前期比7.0%増)	1,610 (前期比1.7%減)	11,257 (前期比5.0%増)		11,257
セグメント利益	601 (前期比11.3%増)	378 (前期比19.7%減)	235 (前期比14.5%減)	1,215 (前期比5.6%減)	△890 (前期比15.1%増)	営業利益 325 (前期比36.7%減)

- ・保守サービス事業は、売上高、セグメント利益ともに成長。
- ・ソリューション事業の売上高はDX推進の後押しもあり成長。  
PCやその周辺機器等の機器の仕入価格の値上がり、利益率の高い役務案件が4Qに集中している等の影響がありセグメント利益は前期比△19.7%。
- ・人材サービス事業は、ベースアップ等の人件費アップの派遣料金への反映、退職者の人員の補充が間に合わず売上高、セグメント利益共に前期比減。
- ・本社管理部門にかかる販管費は、  
資本金増加に伴い外形標準課税制度の対象となったこと、本社不動産賃借料が前年1Qフリーレントであったこと及び上場に伴う社外役務費等の費用が増加。よって、営業利益は前年同期比で減益。

売上高 (単位：百万円)



## 保守サービスは売上、利益共に安定成長

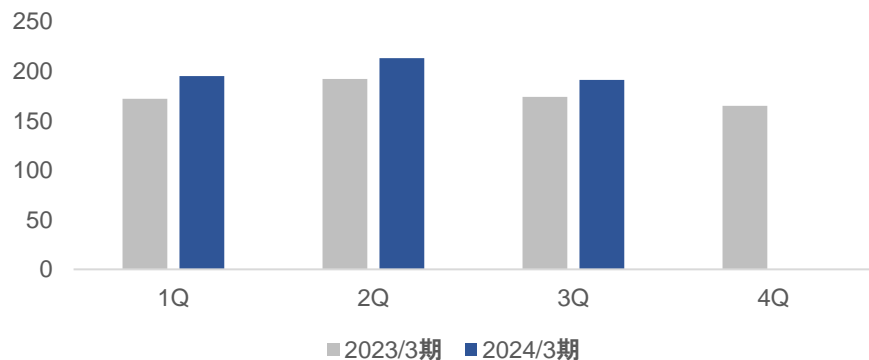
### 新たな保守案件

- ・オンライン資格確認機器保守
- ・飲食チェーン店舗ネットワーク保守
- ・全国商業施設サイネージ保守



オンライン資格確認端末

セグメント利益 (単位：百万円)



### 既存取引先案件の拡大

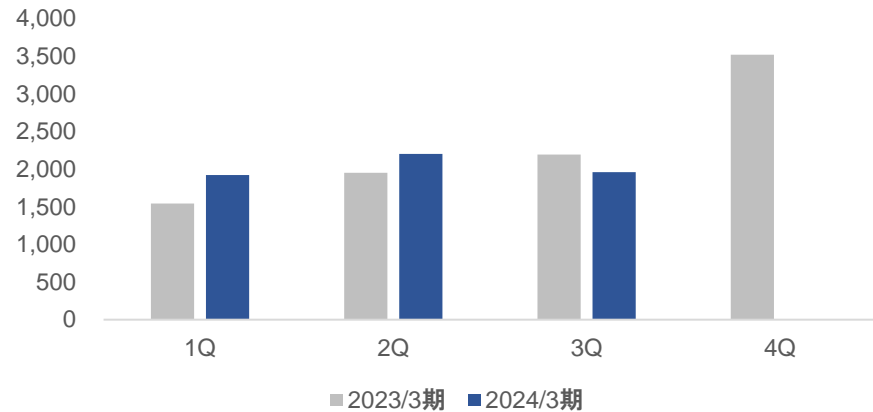
- ・ラベルプリンター保守エリア拡大
- ・自動精算機新札切替対応に向けた保守
- ・電子マネーチャージ機保守



電子マネーチャージ機

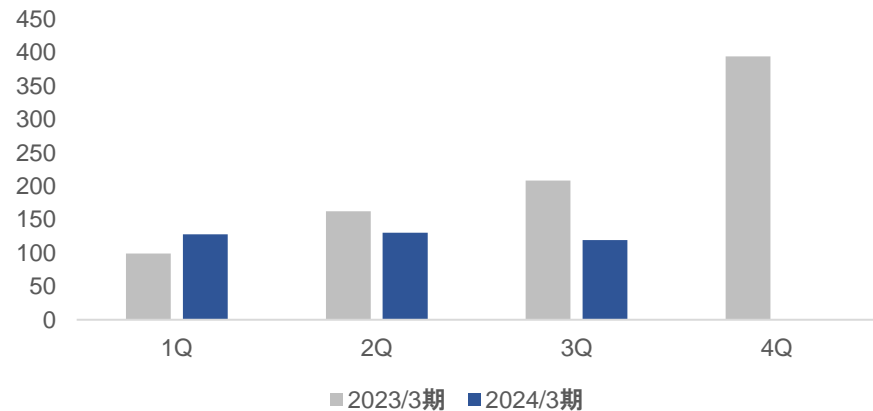
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



## DX推進に伴う案件の増加により 3Qまでの累計で前年同期比で売上高が増加

上期にオンライン資格確認の導入作業が集中したため  
例年よりも売上高が高かった。

3Qは引き続き医療DX、教育DX関連の依頼が多くあった。

## パソコンや周辺機器の販売案件の比重が大きく 利益は前年同期比で減少

### 【課題】

年間契約に基づく機器の販売において  
仕入機器の値上がり分を売上高に反映できていない。

### 【対策】

来年度以降の案件について各取引先と交渉中

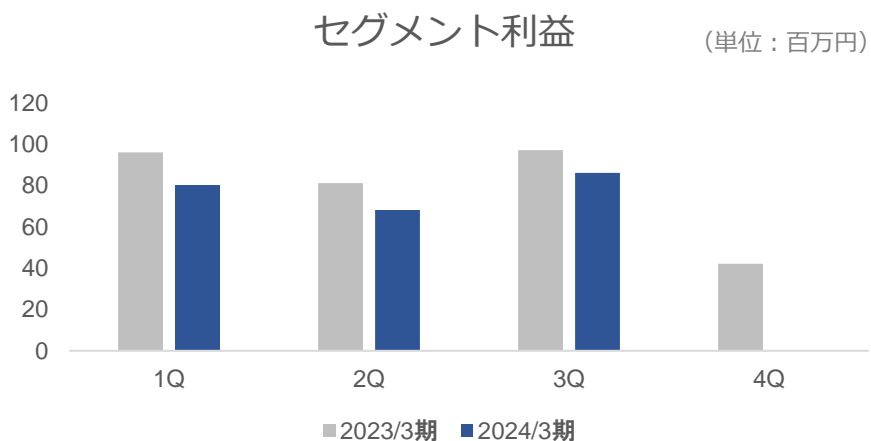
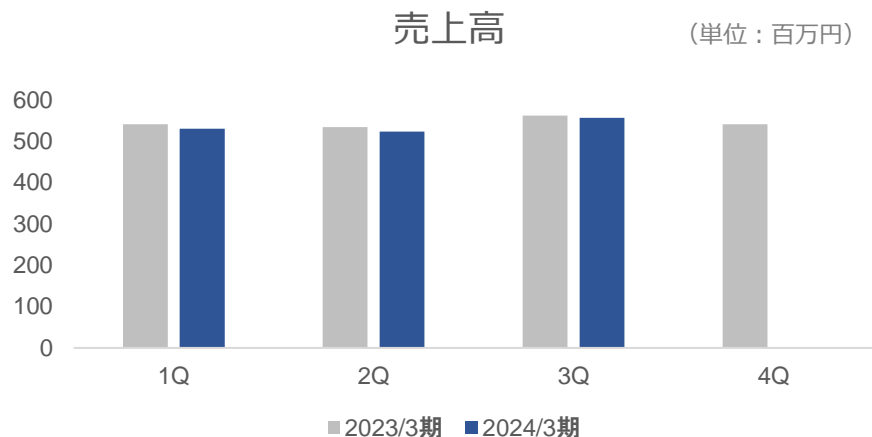
## 例年4Qに売上・利益が偏重

4Qに計上予定

- ・ 2024年3月検収予定の案件…現在案件完遂に向けて作業中
- ・ ICT補助金等を活用した機器販売
- ・ 訪問看護オンライン資格確認機器導入



## 2Qから派遣を開始した新卒社員の活躍もあり 売上高は回復傾向



### 【課題】

- ・ 新規および既存顧客からの派遣要請に人材の供給が追いついていない
- ・ ベースアップ等の人件費UPによる利益率の低下

### 【対策】

- ・ 中途採用の強化
- ・ 派遣単価交渉及び人員のローテーション

※一部単価交渉に同意を得ており、2025年3月期は回復の見込み

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
	2023年 3月31日	3Q 2023年 12月31日	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	929	1,237	+308
受取手形、売掛金及び契約資産	3,626	2,175	△1,451
その他	896	1,410	+514
流動資産合計	5,452	4,823	△629
固定資産			
有形・無形固定資産合計	230	258	+28
投資その他の資産合計	783	841	+58
固定資産合計	1,013	1,100	+86
資産合計	6,466	5,924	△542

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
	2023年 3月31日	3Q 2023年 12月30日	
負債の部			
流動負債			
買掛金	1,229	1,180	△49
未払法人税等	183	14	△169
未払費用	817	748	△69
その他	1,165	793	△372
流動負債合計	3,397	2,736	△660
固定負債			
退職給付引当金	1,185	1,204	+19
その他	259	264	+5
固定負債合計	1,444	1,469	+25
負債合計	4,841	4,205	△635
純資産の部			
株主資本			
資本金	180	183	+2
資本剰余金	80	83	+2
利益剰余金	1,363	1,452	+88
純資産合計	1,625	1,718	+93
負債純資産合計	6,466	5,924	△542
自己資本比率	25.1%	29.0%	+3.9pt

# 今後の見通し

## SHINKO株主還元方針

利益を株主の皆様適切に還元し、ご支援に報いることを第一に、将来にも安定した配当を継続できるよう、企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ配当することを基本方針としております。具体的には、年間配当性向30%を目標として上記基本方針に基づき配当を実施していく予定であります。

2024年3月期は  
**1株当たり80円**  
の配当を予定

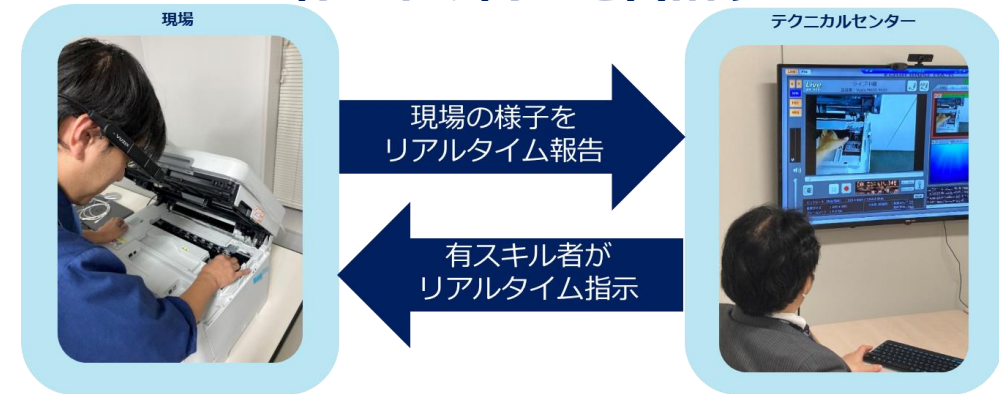
## 2024年2月26日 新テクニカルセンターがオープン



### ◆保守およびソリューションサービスの 全社サポート拠点

- ・オンサイト保守の指示、機器の運用監視、コールセンターヘルプデスク、リペア、キットティングを集約しサービスの高度化と業務効率の向上を図る
- ・有資格エンジニアの常駐による技術支援  
(教育、遠隔作業支援システム導入によるオンサイト作業支援)

↓  
利益率の向上を目指す



### ◆SHINKOの主カプロダクトとしての テクニカルセンター

SHINKOのサービス（保守・運用・キットティング等）をショールーム化し、外部に向けて積極的にプロモーションを図る

↓  
保守及びソリューションの  
受託件数の増加を目指す

## 2024年卒採用計画 83名

進捗率	約92%
前年同期比	172.7%

## 中途採用計画 19名

進捗率	約142%
前年同期比	158.8%

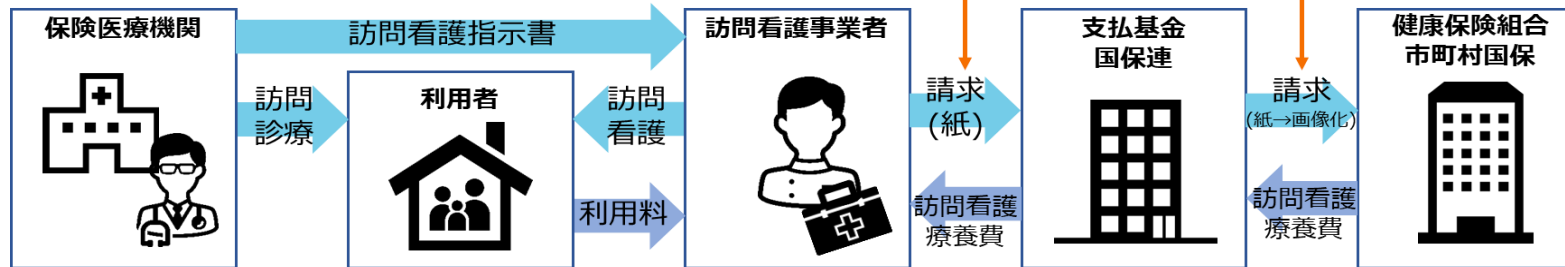
上場効果により、新卒、中途採用共に順調に進捗

訪問看護事業者のオンライン資格確認 2024年6月開始（義務化：2024年秋）



加えて訪問看護ステーションにおけるオンライン請求も運用開始、義務化される

この請求方法を紙から電子に変更

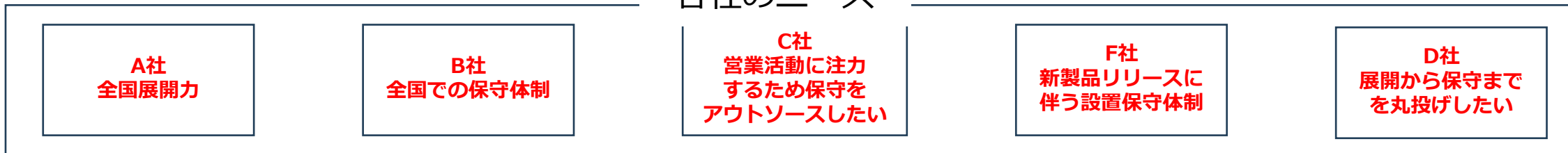


参考：厚生労働省 第168回社会保障審議会医療保険部会資料

※オンライン請求の開始に向けて準備が必要な機器等の一部は、オンライン資格確認と兼用することが可能

**2024年秋に向け導入のための機器設置依頼が増加すると予測**

各社のニーズ



SHINKO の強み

- ・ 医療機関での50年以上にわたる経験
- ・ 24時間365日対応可能
- ・ 独立系
- ・ 現場力
- ・ 全国基盤
- など

上場効果もありSHINKOの認知度が拡大

協業やアライアンスの依頼（ホームページ問合せ、取引先からの紹介等）

これまで取引のない大手企業やメーカーからの問い合わせが増加

新たなプロジェクトのスタート

- ・ AI技術を利用した医療システム及び周辺機器の販売
- ・ 設置作業
- ・ クリニック向け自動精算機の保守 等



# SHINKOの中期経営計画（概要）

# DX改革の一翼を担い、事業の成長を継続しステークホルダーの期待に応えていく



Human Service  
for Happy Life

## 目指す姿

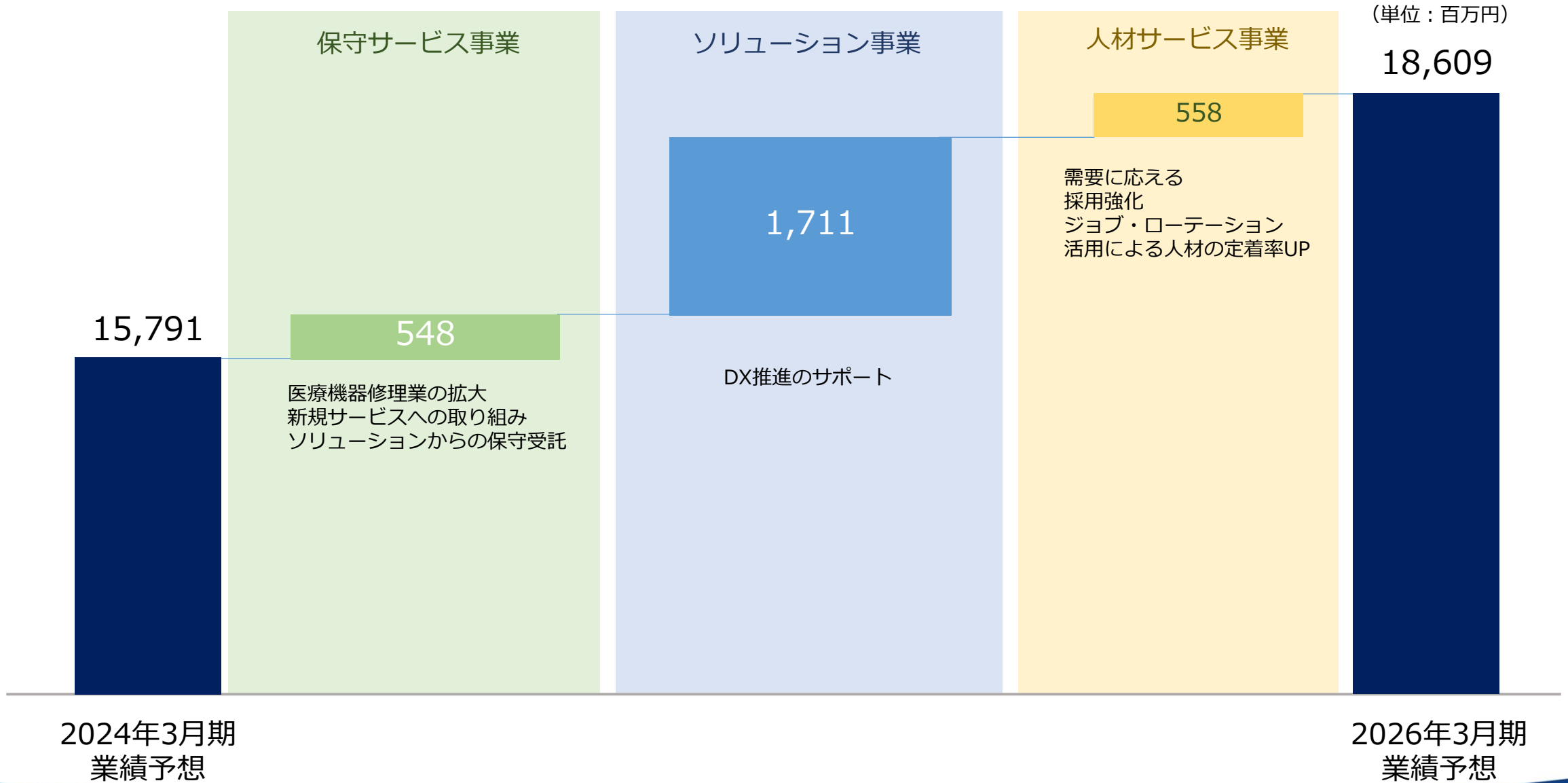
総合ITソリューションサービス企業

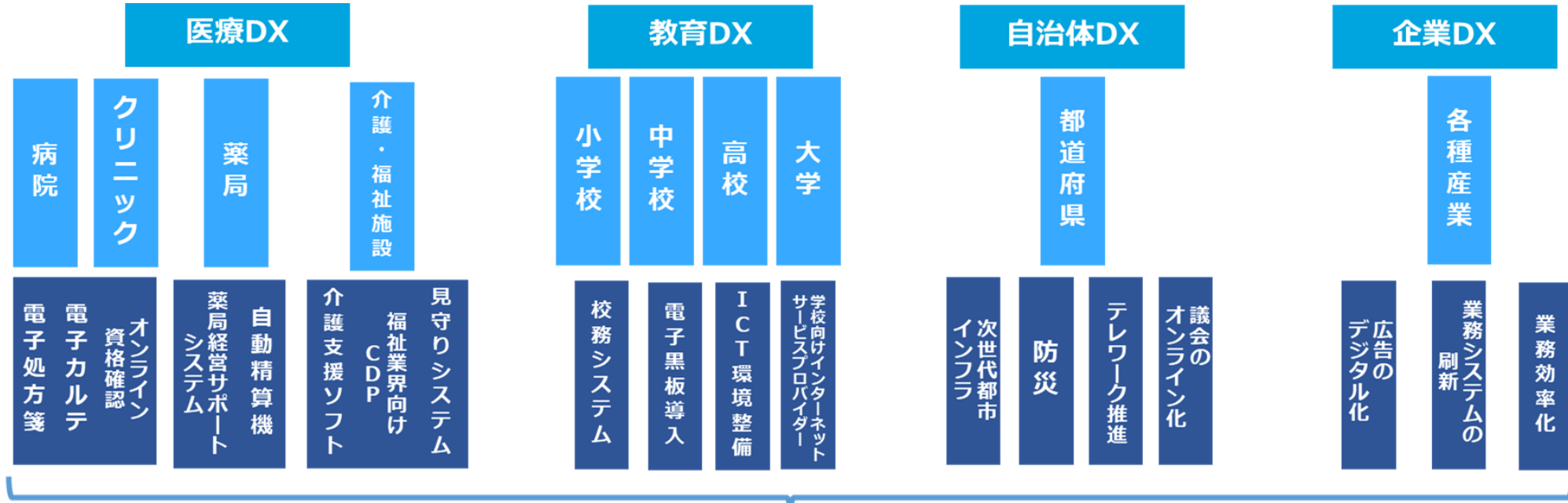
## 価値の提供方法

ITネットワーク技術と、全国ネットワークの強みを活かす

## 注力領域

DXを推進する医療機関・企業を全面的にサポート





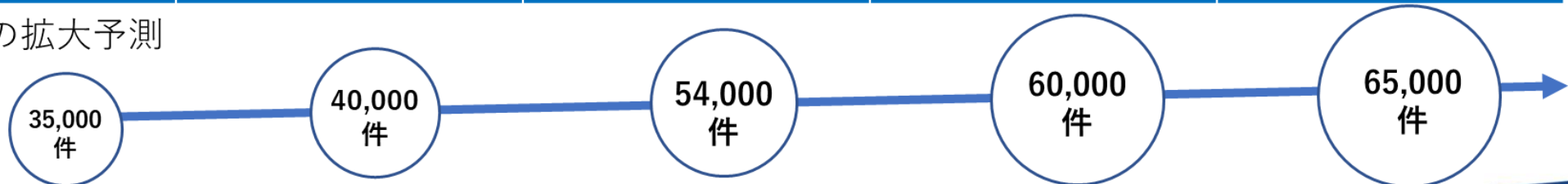
情報通信量の増加

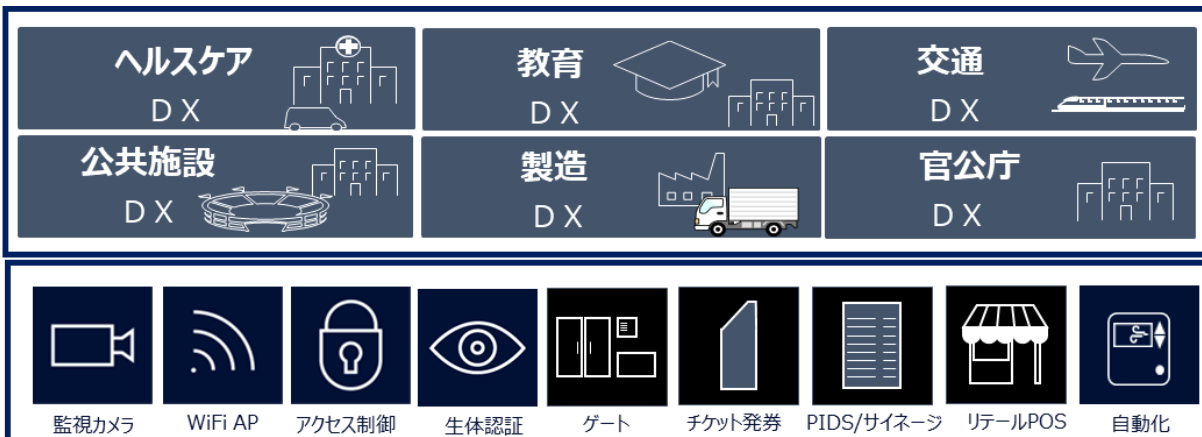
## インフラの刷新が必要不可欠

機器の選定、設定、設置から運用保守までワンストップで対応  
ITインフラの整備、維持までをSHINKOがサポート

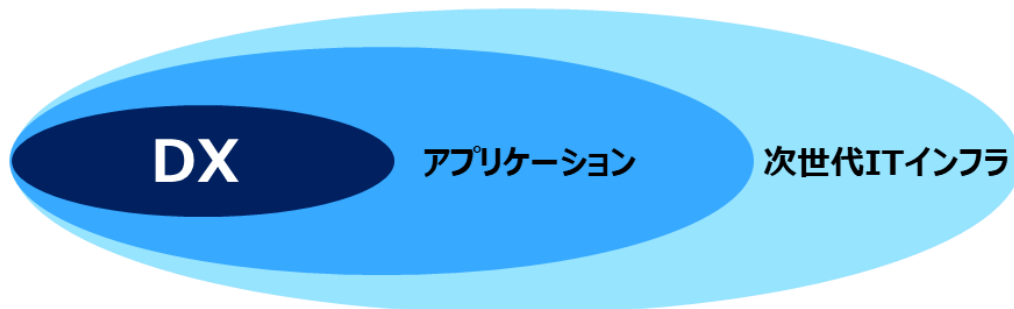
工程表 (抜粋)	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
マイナンバーカードと健康保険証の一体化の加速	オンライン資格確認体制構築 (保険医療機関)	運用開始	運用開始	
情報共有基盤の整備 共有等が可能な医療情報の範囲の拡大		オンライン資格確認体制構築 (訪問看護機関等)	電子処方箋を実施する医療機関・薬局を拡大 電子カルテ情報共有サービス (仮称) の整備	概ね全ての医療機関・薬局で導入 運用開始 医療機関、共有する医療情報を拡大
電子カルテ情報の標準化			医療情報化支援基金の活用による電子カルテ情報の標準化を普及	標準型電子カルテα版提供開始
SHINKOの取り組み	医療DXのサポート (独立系だからこそできるマルチ対応)			
	医療機関におけるセキュリティ対策 (MSK@クラウド、データバックアップ)			
	オンライン資格確認機器の設置			
	電子処方箋導入に伴う電子モジュールの販売			
	電子カルテ導入のためのネットワーク構築、機器の設置			
複雑化する医療機関のネットワークのかかりつけベンダーを目指す				

事業基盤の拡大予測





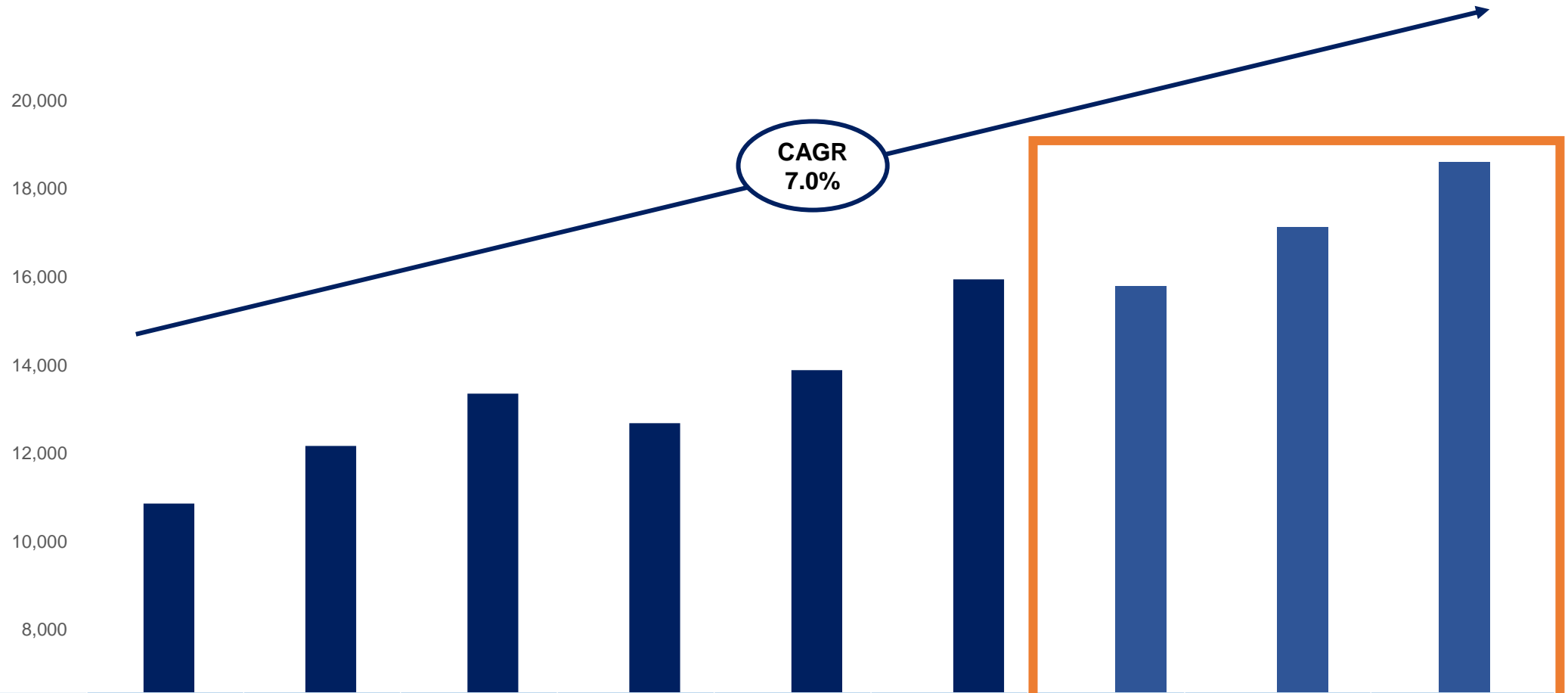
DXにより一層多様化するアプリ、データ量の爆発的増大に着目！  
大容量・高速通信に対応可能なITネットワークインフラ構築の提供を計画



大容量高速通信（G-PON）機器の販売、ネットワーク構築施工、保守の提供へ

総合ITソリューションサービス企業として様々な領域へ  
DXを支えるIT基盤からアプリケーションまでを広くサポート





決算年月	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高 (百万円)	10,863	12,169	13,356	12,684	13,886	15,948	15,791	17,119	18,609
営業利益 (百万円)	363	412	632	474	605	752	700	910	1,120
経常利益 (百万円)	371	417	635	477	612	762	706	916	1,126
当期純利益 (百万円)	250	245	420	236	423	481	488	634	779

# SHINKOについて



会社情報

商号 **株式会社SHINKO**  
 (英文：SHINKO Inc.)

創業 **1953年**

従業員数 **797名**  
 (2023年3月31日時点)

財務指標 (2023年3月期)

売上高 **15,948百万円**

営業利益 **752百万円**

当期純利益 **481百万円**

経営陣

代表取締役社長	福留 泰蔵
専務取締役	高坂 喜一
常務取締役	石田 英章
取締役	佐藤 秀樹
取締役	村上 芳仁
取締役	星野 達也
取締役 (社外)	三宅 大輔
取締役 (社外)	漆原 良夫
取締役 (社外)	根本 紀行
取締役 (社外)	伊藤 憲太郎
監査役	赤堀 由紀雄
監査役 (社外)	若松 巖
監査役 (社外)	吉田 修

わたしたちはお客様を<sup>おも</sup>念い、仲間を<sup>おも</sup>想い、社会を<sup>おも</sup>憶い、  
高度情報通信ネットワーク社会の  
ラストワンマイルである  
人と人との接点に新たな価値を創造していきます。

念う：一心に思う 想う：感情をこめて思う 憶う：深く思う



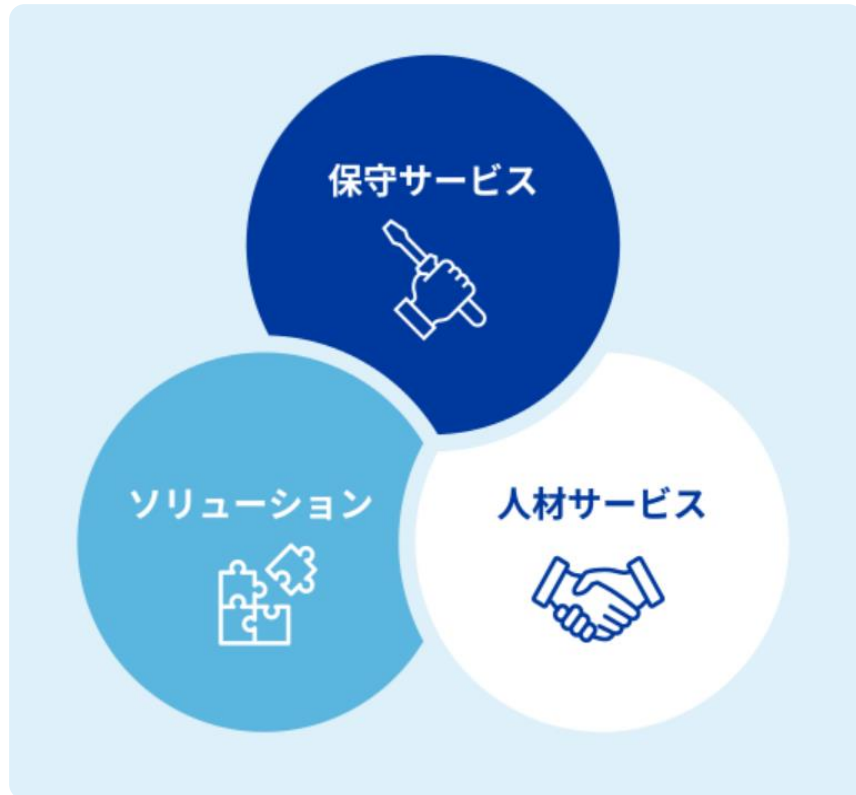


Human Service  
for Happy Life

## SHINKOのビジョン

『Human Service For Happy Life』

SHINKOの経営資源である『人』が、  
すべての相対する『人』に対して、  
サービスという見えない価値を提供します。



## 保守サービス事業

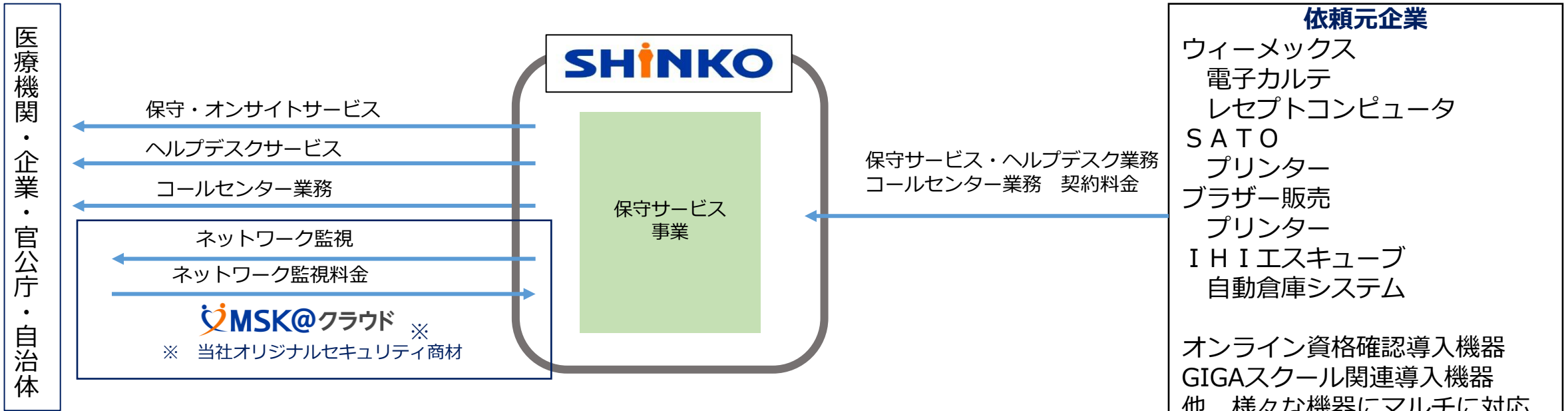
- 全国60超拠点よりオンサイトサービス (2022年12月31日時点)
- マルチベンダー対応
- 24時間365日対応

## ソリューション事業

- ICTサービスの提供
- ネットワーク機器等の提案/販売
- 提案から設置展開までをワンストップで対応

## 人材サービス事業

- カスタマエンジニア、システムエンジニア派遣
- 業務請負

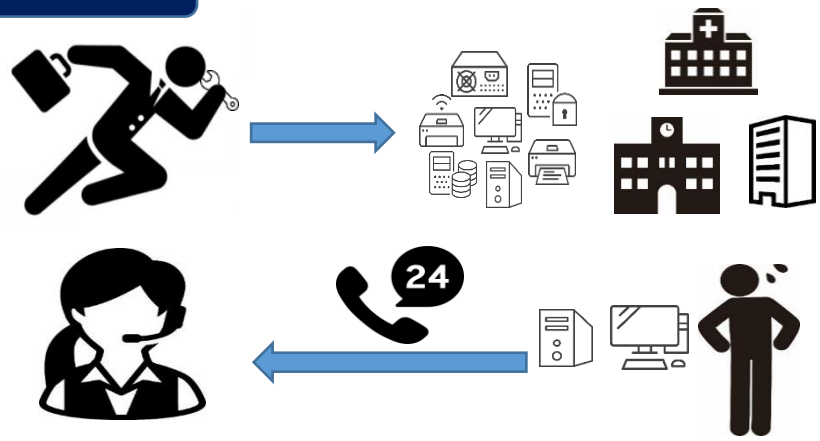


## テクニカルセンターにてコントロール

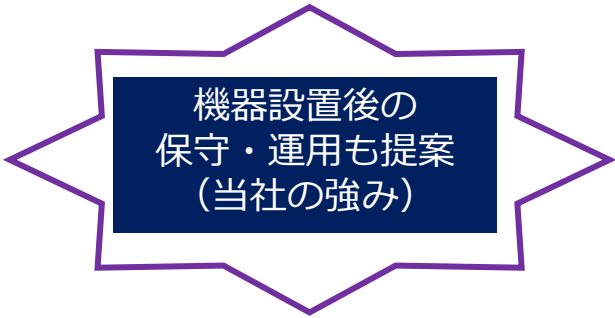
- ### オンサイト保守

現場に駆け付け保守を提供。  
マルチベンダー対応
- ### 運用保守

24時間365日 お客様のIT機器の運用を支援。ネットワークを監視。

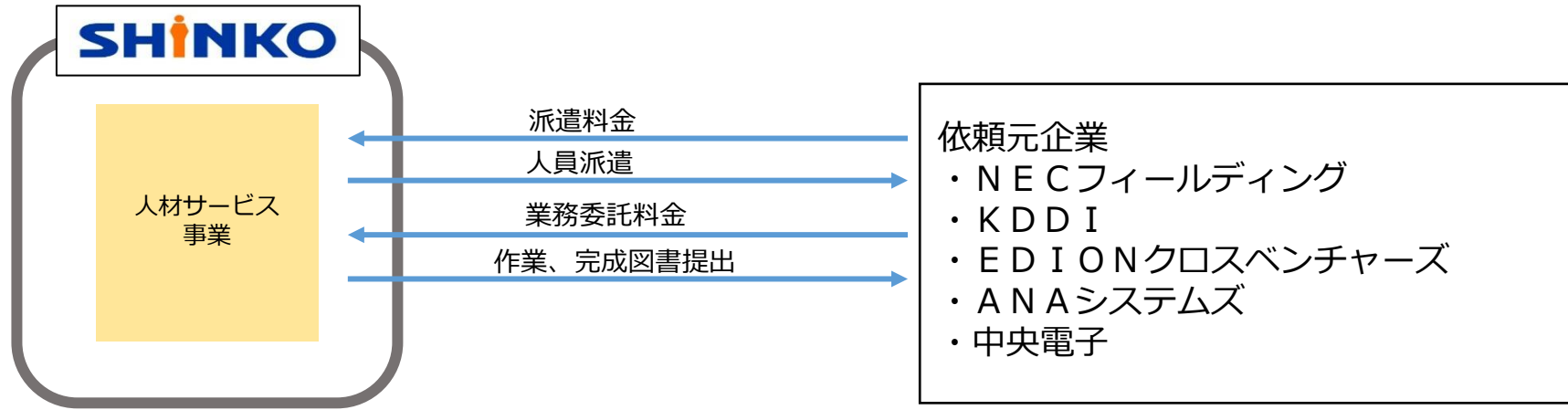


## 事業系統図



豊富な構築実績を活かし、顧客の要望に合わせたITインフラ環境を設計構築

## 事業系統図



## 人材派遣

カスタマエンジニア派遣 → IT機器の保守・点検・修理

システムエンジニア派遣 → ネットワーク構築

派遣先企業のフロント営業サポート

## 業務請負

エンジニア常駐

→ 中央官庁向け提案書作成  
企業向けPCや各デバイスの  
ライフサイクル管理サービス

本資料では、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、経済動向や市場需要、税制や諸制度などに関わるリスクや不確実性を含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。

当社は2023年3月22日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。本資料に記載されている過年度実績数値については、非上場であったため、監査法人の監査を受けていない数値が一部含まれる場合があります。

株式会社SHINKO  
<https://www.kk-shinko.com/>

お問合せ  
[shinko-ir@kk-shinko.com](mailto:shinko-ir@kk-shinko.com)



